



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(26)5100 振込口座02030-2-8359 編集発行 教区広報部

道標



Yet... Joy! Hope! Gratitude!

「みことば」で生きる共同体を目指して

司祭大会でレナト神父が講演



聖書に登場する物を前にして瞑想する司祭団

一月二十二日(火)から二十五日(金)まで鹿兒島市で開かれた司祭大会でレナト神父(聖ガベリオ宣教会・武蔵ヶ丘教会主任)が「教会生活と宣教における神のこゝろ」をテーマに講演した。このテーマは今年十月にローマで開催される「世界代表司教会議」のテーマでもある。

講師はこのテーマが指すもの、すなわち聖書(神のことば)が教会生活の中でどれほど重要視されているか、生きた神のこゝろが生きた人間に告げられる典礼が果たして有益にさげられていくかなど、典礼に関して、具体的に指摘し、司祭たちの注意を喚起した。

列福式参列のためにツアーを企画

詳細は近く小教区で発表

教区本部では十一月二十四日(月)に長崎である列福式への参加者を募るためのツアーを企画、提供



おめでとう 神父さま!

国原武志神父が司祭叙階五十年を迎える

国分教会の国原武志神父(ザベリオ宣教会・七十六歳)は、来たる三月二十二日(土)、司祭叙階五十周年(金祝)を迎える。国分教会ではこれに先立ち、一月二十七日(日)、郡山司教、聖ガベリオ宣教会日本管区長マンニ神父を招いて神父の金祝を祝った。

国原神父は、一九三二年二月十九日イタリアに生まれた。一九五〇年ザベリオ宣教会に入会し、八年後にピアチェンツァ市で司祭に叙階。叙階後すぐ来日し、二年間の日本語習得期間を経て大阪教区の岸和田、浜寺の両教会、続いて大分教区の延岡、宮崎教会に勤務し、一九六六年一月から今日まで鹿兒島で働いている。鹿兒島では垂水と現在の国分教会で主任司祭として、また同教会附属の幼稚園園長として働き、その間、一九八九年三月には帰化し現在の日本名(イタリア名はカリメロ・フォルナバイヨ)を取得するなど、心から日本を愛し続ける司祭である。

新風

聖パウロはマケドニア州にある教会の信者たちが、「聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させて欲しい」と、しきりに私たちに願ひ出た(コリントの信徒への手紙二8章4節)と書いています。それは、彼らが決して、富者だったからではなく、「彼らは苦しみに激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなった」(同上2節)と説明しています。

施しの精神

聖パウロは彼らの信仰、言葉、知識、あらゆる熱心な評価し、その慈善の業を続けるように勧めていますが、同時にこの勧告は、慈善を行うことは自発的なものであって、決して命令ではないこと。主は豊かであったのに、あなた方のために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです(同上9節)と。イエス・キリストの貧しさは、金銭的なものではないし、ましてやその豊かさも金銭的なものはありません。貧富の差を金銭の所有量で測るのはこの世の精神です。施し(慈善)が、名誉や義務感

列福式参列のためのツアー (各コース)

コース	出発場所	出発時間	宿泊	定員	料金(概算)
A	鹿兒島市内	23日11時	ホテル矢太樓本館(長崎市)	50人	22,900円
B	鹿兒島市内	23日11時	ホテル東洋館(雲仙市)	100人	23,700円
C	鹿兒島中央駅西口	23日7時	富貴屋旅館(雲仙市)	40人	24,688円
D	鹿兒島中央駅西口	23日7時30分	平戸海上ホテル(平戸市)	80人	23,043円
E	鹿兒島中央駅西口	23日7時	西海橋コラソンホテル(佐世保市)	80人	22,602円
日帰りA	鹿兒島市内	24日6時	鹿兒島市内着22時	150人	7,500円
日帰りB	ザベリオ教会	24日6時	ザベリオ教会着21時50分	160人	6,781円
日帰りC	ザベリオ教会	23日23時	ザベリオ教会着22時15分	40人	8,500円

ザベリオ祭実行委

今年最初のザベリオ祭陸記念祭実行委員会(藤山喜和委員長)が、二月十五日(金)教区本部で開かれた。今年と同委

員会には小教区との連携を密にするために、使徒職団体代表に加え、小教区で発言力のある地位に就く信徒代表が加えられた。今年の記念祭は八月十七日(日)の開催される。

YET

同じ競技を一緒に二十七年続けている友人がいる。小柄な彼はそのスピードと持ち前のテクニクをひっそり、関東の大学へと進学。大学ではそれなりに活躍したものの一軍定着とはいかず、夢だったはずの「その道で食っていく」という願いは叶わず、鹿兒島に帰ってきた▼大学卒業後に鹿兒島で出会った彼とは何度となく一緒に日本一を目指した。しかし全国の壁は如何ともしがたく、いつも二、三回戦負け。そんな彼の口癖は「人間は花開くときがそれぞれ違う。おれはプロにはなれなかった。でも、いつかプロと言われた人に勝たたい。日本一になりたい」だ。だから彼はまだ毎日走り続けている▼四十を過ぎ、間もなく五十になろうとしている僕ら、四十代で臨んだ全国大会も準優勝が最高という成績に終わり、夢は叶ってない。「もうこれくらいで」と半ば諦めのこちらをよそに、友人は次の年代での日本一に燃えている▼先月、父が他界した数回日の二月二十九日を迎えた。失敗続きで他人をも恨み、一時は教会からも離れた父だったが、その最期にはそれまでの人生を取り返したかのような死を恵まれた。二十年経った今でもその死が羨ましい。だから友人の「花開くとき」を望めるならスポーツの世界ではなく、父のように「その人生における最期の日に」をだけははずせない。

十字架の力を発見する

1 ※参加者を温かく迎えます(ハンマ神父様)

※典札聖歌七十七番一神よあなたの道を歩めしを三番まで歌い、祈りに代えます。

これをもつて、主をお招きするための祈りとします。

※リーダーによる説明(十五分)、今日の講座の流れを説明

・分ち合いのルールについて

四人以上のグループにならないようにします。・プレイバシールールの徹底について

今回から、例題は北薩信徒の色々な体験に基づいて分ち合うことになりました。そのため内容等で疑問点があれば、分ち合いに入る前に質問できます。

(ゆっくりと間をおいて二回読まれます。)

『宣教も私たち一人ひとりに与えられた十字架(ここでは使命)なのです。学生時代の話です。アルバイトに行っていた某レストランでの出来事です。社員の方が

「大学でキリスト教を学んでいるんだってね。でもいいね。他の人に比べれば正解があるわけでもない

自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて十分、全体では三十分)

※質問は一つずつ分ち合いと報告をしながら進んでいきます。

イザヤ書五十三章2節、5節を読んでみましょう。『乾いた地に埋もれた根から生え出た若木のように

※しばらく黙想し進行役は「彼の受けた傷によって私たちは癒された」(五回繰り返す)

彼が打ち砕かれたのはわたしたちの咎のためであった。彼が受けた懲らしめによつてわたしたちに平和が与えられ、彼の受けた傷によって、私たちは癒された。」(2節、5節を何度か繰り返して読みます)

北薩地区宣教奉仕者

(信徒使徒職)養成講座(水)

出水教会主任司祭 大松正弘

に答えられますか?』

問いかけ(まず五分間それぞれ自分を振り返り、必要に応じてメモしてください)

(1) 十字架は信徒にとつてどのようなものでしょうか?

(2) イエスの十字架からくる力と慰めを体験したことのある方がいらつしやいますか?

(3) 宣教と十字架について話し合ってみましょう。

※小グループに分かれての分ち合い。

2 リーダーによるまとめ。内容についての質問やコメントが出され長くなることもあり。十五分)

3 折り(自分を神の前に置き、振り返る。十、十五分。サダナの祈りによる)

今日の一日、何がありましたか?

あなたに十字架はどのようなものでしたか? どうしてその十字架を担うことができたでしょうか? そのときイエスが共にいて支えてくださったことを感謝しましょう。すべての苦しんでいる人を十字架の上のイエスに委ねます。

「足跡」をゆっくり朗読する。

次回は入来教会で三月十六日(日)午後二時から開かれます。どなたでも参加できます。

司教執務室便り

小さな異宗教交流

紫の袴に白の上衣。かなり薄くなっているが宮司に長髪とは意外。穏やかなにかむような笑顔は変わらない。高校時代の友人との再会とは思いがけないことでも実現した。

終身助祭を目指す四條さんの朗読奉仕者選任式にはやはり東京在住の姪御さんも出席された。お昼の後、四條さんの恩師ジェローム神父様の墓参の帰りに彼女が言った。

「高千穂神社の鳥居はウチのおじいちゃんが作ったの」
「見に行こう。宮司はボクと同級生だし...」
四條さんのレンタカーを境内の駐車場にとめて鳥居をくぐった。聖心教会時代、弓道に通っていた時以来だ。本殿前に立つもう一つの白い鳥居には確かに彼女のおじいちゃんの名が刻まれていた。

と意味の深さには心引かれるものがある。
食事の時の「いただきます」は作った人やお百姓さんへの感謝ではない。人が生きるために沢山の命を奪っているのが食べるということ。奪われていく命への感謝が「いただきます」なんだという。「いただきます」がこんなにも美しい意味を持った食前のお祈りだったとは!

どんな命にも神の恵みを感じる日本古来の高貴な心が「儀式の宗教」とされた神社で継承されていたとは! こうした話を近隣の子供たちにもするのだという友人宮司の顔は穏やかに輝いていた。



+KABAYAN SEKSIYON+ "Ang Pandama ng Kasulatan"

Sang-ayon sa lumang tradisyon, ang isa ay pwedeng makilala sa pagitan ng dalawang pandama ng Kasulatan: ang literal at and espirituwal, ang huli ay nahahati sa pagpapahayag, moral at pag-gagabay na pandama. Ang kalaliman pagkakaisa ng apat na pandama ay gumagarantiya ito sa lahat ng kagandahan sa buhay ng pagbasa ng Kasulatan sa Simbahan.

Ang literal na pandama ay kahulugan na dinadala ng mga Salita ng Kasulatan at natutuklasan ang kritikal na pagpapahayag, na sinusunod ang tuntunin ng mata-tag na pakahulugan. Ang ibang mga pandama ng Banal na Kasulatan ay base sa literal. Ang pandamang espirituwal- salamat sa pagkakaisa ng plano ng Diyos, hindi lamang ang libro ng kasulatan kundi man ang mga katotohanan at pangyayari tungkol sa kung ano ang sinasabi ay maaring maging tanda.

Ang pandamang pagtuturo (alegoriya). Magkakaroon tayo ng mas malalim na pagkaunawa ng mga pangyayari sa pagkilala ng kanilang mga kahalagahan ki Kristo; halimbawa ang pagtawid sa Pulang Dagat ay isang tanda o tipo ni Kristong matagumpay at saka ang Binyag ng Kristiyano.

Ang pandamang moral- ang mga pangyayaring natatala sa Kasulatan na gumagabay sa atin na gumawa ng wasto o tama. Tulad sa sinasabi ni San Pablo, isinulat iyon " para sa ating pagtuturo".

Ang paggagabay na pandama (anagogical)- Makikita natin ang mga katotohanan at mga pangyayari sa pamamagitan ng kanilang walang hanggan kahulugan, na ginagabayan tayo patungo sa ating tunay na bayan: na ang Simbahan sa daigdig ay tanda ng makalangit na Jerusalem.

Kaya ito ang gawain ng mga nagtuturo na magtrabaho o gumawa, sunod dito sa mga panuntunan, para sa mas mabuting pag-unawa at pagpapahayag ng kahulugan ng Banal na Kasulatan para ang kanilang pananaliksik ay makatulong sa Simbahan para sa matatag na paghugsa. Kaya mga kababayan, ang Simbahan ay ginagawa ang lahat para sa atin na mas kilalanin natin ang Diyos sa Banal na Kasulatan.

レオを称える詩を歌に

山頭シスターの歌詞にメロディーをつけよう!

今年の秋のレオ税所七右衛門の列福を前に、もつと殉教者を身近なものに感じようとしてレオの殉教を称える歌が作られることになり、その歌詞が教区本部に届けられた。

作詞したのはレオの殉教を題材にした紙芝居「もうでござるか」の作者、山頭信子修道女(長崎純心聖母会鹿児島修道院)。今後、

レオ七右衛門

作詞 山頭信子

- 一 ああレオ 勇気あるレオ レオ七右衛門
物静かで いさぎよく
勇気ある信仰者 レオ七右衛門
われらに模範 残したもう
- 二 ああレオ 勇気あるレオ レオ七右衛門
信仰によって 救いを見つけた今
財産奪われ 追放されても
信仰に 背くことは できませぬ

門田 明氏の

鹿児島とキリスト教⑨

ルイス・デ・

アルメイダ神父(2)

先号では、貿易商兼医師であったアルメイダが、一五五二年種子島に上陸し、仕事のため平戸、山口、大分など各地を巡るうち、宣教師の仕事に心を惹かれるようになり、イエズス会に入会して神父になり、福音的な社会事業にたずさわることになったことを話した。

彼が大分で病院を始めると、その優れた医療や医薬はたちまち有名になり、日本の各地から患者が集まるようになった。彼はこの病院で四年

教区本部ではこの詩に合う曲を募集する。
作詞にあたりシスター山頭は、レオの名前を多

四月下旬開講

今年も典礼研修会

教区典礼委員会(頭島光委員長)では、昨年同様今年も典礼研修会を開催することにし、その内容を発表

今年の研修会は四月から毎月一回ザビエル教会一階ホールで開催される。対象は小教区の典礼委員と宣教奉仕者だが、またミサ典礼に従事あるいは関心のある方など誰でも参加できる。参加希望者は各所属教会に申込み、受講料二千元は第

くの人に印象づけることを狙い、また殉教者の勇気をきりりとした潔さで表したかった述べている。
教区本部では、作曲に興味のある人や教会学校の子どもたちに奮って応募して欲しいとしている。曲の送り先は、教区本部で、締切は七月末日。

一回講座時に会場へ納入する。講座の日程と内容は別表の通りで、十三時半から十六時までの予定になっている。

鹿児島に青年百人が集まる

ネットワークミーティング

カトリックの青年が全国から集い交流するネットワークミーティング(以後NW)が、二月九日(土)

間、外科だけでなく内科、眼科、産科などでも働いていたが、やがて後進に道を譲り、一五六一年六月から諸国伝道に旅立った。彼が訪れた土地は、博多、平戸、鹿児島など九州全域にわたっている。鹿児島では、ザビエルと親交のあった僧侶・福昌寺の忍室和尚の眼病を治療したという。

彼が伝道のため旅した地を年代を付して列挙すると、一五六二年博多・横瀬浦・島原・口之津、一五六五年堺・京都・奈良、一五六六年五島列島、一五六七年長崎(長崎では一年滞在し教会を創設、以後、天草、大村、有馬ほか西九州一帯に布教し、一人この働きが認められたのであろう。

一五七九年、五十四歳のアルメイダ修道士はマカオに召還され、翌年初め司祭に叙階された。そして、その年の六月、再び長崎に帰ってきた。が、間もなく天草地区の院長として同地に渡り、多くの教会を建てた。その後、管区長の願いで薩摩に布教したが、大友・島津の戦の直後で精神的に動揺する社会情勢のもとで不成功に終わった。

一五八三年、過労のため衰弱がひどく、十月、五十八歳で生涯を閉じた。ニコニコと笑みを浮かべての昇天であったという。

(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)

典礼研修会予定表

	月 / 日	講師	テーマ
第1回	4月27日(日)	中野裕明神父(教区書記長)	典礼の精神
第2回	5月25日(日)	深掘 純氏(サンスルピス大神学院教授)	ミサー共同体の賛美
第3回	6月22日(日)	竹山 昭神父(純心女子大学教授)	使徒信条の意味
第4回	7月20日(日)	南雲正晴神父(全国典礼委員会委員)	典礼規範に基づく日本固有の美しい典礼



いる信徒・修道者・司祭が自由に集い、抱えている問題を分かち合い、交流する情報交換と交流の場。
会場には沖縄教区を除く全教区から百人余りの青年が集まり、「ひろげもんそ」のテーマのもと同じ信仰を持つ者特有の温かい交流の時間を持った。

四條さん朗読奉仕者へ

二月十七日(日)古田町教会で、終身助祭候補者に任命されている四條淳也さんの朗読奉仕者選任式が行われた。

寝占敦之神父銀祝

指宿教会主任司祭の寝占敦之神父が、来たる三月二十日(木)司祭叙階二十五周年(銀祝)を迎える。



五日生まれの五十四歳。川内高校卒業後、英知大文学部神学科へと進み、その後、福岡サン・スルピス大神学院へ編入して司祭への道を歩みだした。一九八三年叙階後は名瀬聖心、種子島教会、司教館、鴨池、加世田、瀬留の教会で働き、二〇〇六年から指宿教会で主任司祭として、また同教会附属の白百合幼稚園園長として働いている。

3月

今月の暦

- 2日(日) 四旬節第四主日
- 9日(日) 四旬節第五主日
- 15日(土) 聖ヨセフ
- ▼大野和夫神父・牧山田一神父・ムイベルガ神父・岡 俊郎神父・池田紀行神父霊名
- 16日(日) 受難の主日(枝の主日)
- ▼世界青年の日
- 17日(月) 田原 章神父叙階記念日(一九五三年)
- 18日(火) 岡 俊郎神父叙階記念日(一九六六年)
- 19日(水) 成相明人神父叙階記念日(一九六七年)
- ▼ゼローム神父命日(二〇〇三年)
- 20日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
- ▼浜田盛茂神父叙階記念日(一九六六年)
- ▼永山幸弘神父叙階記念日(一九六八年)
- ▼郡山健次郎司教司祭叙階記念日(一九七二年)
- ▼寝占敦之神父叙階記念日(一九八三年)
- 21日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)
- ▼美島春雄神父叙階記念日(一九六七年)
- ▼木村敏彦神父叙階記念日(一九八六年)
- ▼頭島 光神父叙階記念日(一九八七年)
- ▼大松正弘神父叙階記念日(一九八七年)
- ▼小限憲士神父叙階記念日(一九八八年)
- ▼末吉卓也神父叙階記念日(二〇〇三年)
- 22日(土) 聖土曜日
- ▼国原武志神父叙階記念日(一九五八年)
- 23日(日) 復活の主日
- ▼祭壇奉仕者選任式・カテドラル・9時
- 25日(火) 泉 浩二神父叙階記念日(一九九三年)
- ▼春の中高生巡礼「川内・天草・熊本・八代」・27日まで
- ▼テーマ 殉教者の思いとは...
- 参加費 一万五千元(離島からの旅費は主催者が負担します)
- 申込締切 3月16日(日)
- 申込み先 加世田教会 泉 浩二神父
- 〇九九三二五二一三〇三〇四
- 2日(木) 瀧 憲志神父叙階記念日(一九六五年)
- ▼コンタリーニ神父命日(一九九八年)
- ▼島田喜藏神父命日(一九四八年)
- 28日(金) 田邊 徹神父叙階記念日(一九五一年)
- ▼明松尊吉神父命日(一九九二年)
- 26日(土) 内野洋平神父叙階記念日(二〇〇三年)
- 30日(日) 復活節第二主日(神のいつくしみの主日)
- 31日(月) 神のお告げ
- ▼河野純徳神父命日(一九八九年)

神との和解

―四旬節に思う―

谷山教会 W・フリチエル神父



私は、神との和解をテーマに選びました。なぜなら、神との和解のなかにすべての和解が含まれているからです。また、私たちの永遠の運命もこの神との和解によるものです。イエスは「時が満ち、神の国は近づいた」という喜ばしい便りをもって、公の宣教を始めました。すぐ「悔い改めて福音を信じなさい」と宣言されたのです。

これらのことは、全キリスト生活の要約だと言ってもよいと思います。私たち一人ひとりが、自分の信仰生活や家庭生活、社会生活、お勤めや信徒としての生活などについて反省すれば、悔い改めなければならぬ点があるのではないのでしょうか。これを実現するために、神との和解が必要です。また、キリストが宣べ伝えられた神の国に入るためにも和解が要求されます。この和解を実現するために私たちは自分の非を悔やみ、これから全力を尽くして、心も考え方も新しいものにしなければなりません。これも神に対する和解の行動です。これについて、イエズスさま「自身は和解しようとする人々にとって、完

たのです。

「欠点を直すことは死ぬまでかかるかも知りませんが、大切なのは毎日始める。毎日努力することです。努力すれば欠点を少しずつ直すことができるのです」

私はこの点についても経験があります。また、皆さんは次のような諺をご存知でしょうか。「七転び八起き」

小宿小教区を巡礼

大熊小教区婦人会

二月十一日(月)、大熊小教区の婦人会員は小宿小教区内の六つの教会を巡礼しました。

北東側の龍郷と笠利、南西にある住用、瀬戸内方面の教会は、幹線道路沿いでもあるためたびたび訪問してはいますが、大島の南西にある小宿、知名瀬、根瀬部、大和、大棚、戸田の教会はあまり行ったことがないので、今回の巡礼地として選びました。

当小教区の婦人会活動(教会学校キャンプや小教区バザーなど)は、皆が心一つにして仲よく助け合っていくには、難しきや苦勞がありました。そんな中、活動が一段落したので巡礼地を選んで教会巡りを決行することになったのです。

参加者たちは各教会を巡りながらロザリオを唱え、そして小宿小教区主任司祭ホルヘ神父(ニカラガア出

私たちが先に言った精神を持つているならば、聖パウロと同じように「私が生きているがもう私ではなく、キリストが私のうちに生きておられる」と言うことができるのではないのでしょうか。神との一致、神との和解を求めましょう。



ぶどう酒がなければ...

②「信仰は耳から始まる」耳で聞いて信じます。

③「幸せは神さまから来る」お金や地位や物では幸せにはなれません。

④「マリアさまのご像の顔は左側を向いている」やぎ、悪人、呪われた人たちに、「十字架にかかっているイエスさまの顔は右側を向いている」羊、善人、父に祝福された人たちに。

だからマリアさまは罪人の回心とあがないを願っています。イエスさまは愛の行いや正義で裁くことを表していることでした。(報告/平 三國)

三月十六日は世界青年の日

教皇ヨハネ・パウロ二世は一九八五年三月三十一日(受難の主日)、

国連制定の国際青年年にあたって全世界の青年たちにメッセージを発表し、その翌年から「世界青年の日」(WYD ワールド・ユース・デー)を毎年、受難の主日(枝の

ました。

それとともに一九八七年以来、「国際青年フォーラム」と「世界青年の日」記念式典が教皇臨席のもとに開催され、全世界から大勢の若者があつまるようになりました。

初回の一九八七年はブエノスアイレスで開かれ、以降、サンチャ

文芸

俳句(思川俳句会作品)

市来房枝選

出水 沖 弘子

日のぬくみとどめ春待つマリア像
(評) 暖い日差しの中に立つマリア像をふと仰がれたのだろう。もう春は近い。

純心学園 山頭 信子

初点前和服の席に修道女
(評) シスターを交えた茶会の情景をうまく捉えた一句

出水 遠竹 睦郎

紅梅を愛で声掛ける梅の花
鹿兒島 徳永ノブ子

鹿兒島 徳永ノブ子

めぐり来し七草粥の朝餉かな
文机一輪で足る梅の花

国分 政 ノブ子

歳月や喜寿を迎える二月かな

純心学園 川上 和

長旅の鶴を見送る梅の花

鹿兒島 春山マリ子

誕生日(こころ)浮き立つ二月来ぬ

鹿兒島 龍門司真人

瑞光や三枝の礼の友の文

(評) 格調高く詠まれた一句。「三枝の礼」とは、空を飛ぶ小鳥も礼儀を守って行動しているという意味を表した言葉

短歌(思川短歌会作品)

市来房枝選

出水 遠竹 睦郎

教皇の写真飾れる書齋にて朝の祈りを今日も捧げぬ
(評) お祈りで始まる一日はきつと充実していることだろう。

大 口 森 博伸

召されし後私も千の風になりあの大

空を吹き渡りたい

(評) 天に召され、普遍的な存在になった私たちを想像するのも楽しい。

鹿兒島 前田 儀子

パンジーを植ゑむと庭の土掘れば丸く縮まるお蝶姑み出くる

鹿兒島 春山マリ子

神さまに背きし思ひ持たざるも冷たき視線浴びる日のあり

阿久根 中津濱フサエ

わが園につつましく咲く梅の花春の光をあびて句(へり)

純心学園 川上 和

西坂のルドビコさまは十二才小さき十字架上に果てにき

選者 詠

来し方を神の御手に包まれて古来稀と呼ぶ

元且に幾年振りか雪降りて初ミサあるも動きの取れず

カトリック新聞

1部本体価格150円(税・送料別)
購読料金(前納、税・送料込)
半年4740円・1年9480円

見本紙贈呈いたします

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社
TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030 Email kodoku@cwjpn.com